

見て、走って、感じた読者へ

見て、走って、感じた読者レポート

**WANACHI**  
[わなち]  
道路を車輪が通った跡、  
という意味。  
広辞苑によれば  
轍(わだち)の語源とも。

## REPORT

# アルプスの民と風物に触れた 僕らのゾーン ド・フランス

**山口 泰** 54歳 自転車歴10年



●イズラン峠にて。一気に下ってはもったいない絶景に、足を着いてしばし見とれる

2011年、佐藤尊直氏が鎌倉で出会った旅のフランス人に語った夢が、実現することになった。彼らは、ヴァンサンとクリスチーヌ。彼らは、山岳岳スカンジンガ行なわれるロースアルブズの中心であるオート・リサヴォワ県以下、サヴォワ県、シャンペニア州郊外に住む、日本びきの同年夫婦だ。ヴァンサンは恵美一段で教官の指導者、クリスチーヌは音楽教師。恵美がなれそめで結婚したおじい夫婦だ。

スポーツ一家の彼らのもう一つの趣味は自転車。タンデムで數々の大西洋まで走つたり、ロードマウンテンの峰を駆け上り下りしたり、ヨーロッパ全土を駆けめぐらすなどツール・ド・フランスをしまじらう。「ショウ」と、メールが舞い込んだ。

ガリビエ工場以外にイズラン岬、ブルーブ・デュエズ、クロード・フェール、マドレーヌ・エス等などツールで、洪沢戦の場となる数々の外せない峰を盛り込んだ、今回の周遊コースだ。

3人ほど、ヴァンサン、長男のレミー、  
くん、次男のテオくん、そして  
かつてフランスナショナルチーム  
にいたというアンサンの兄弟分。  
ジル。もちろん彼も素道家。  
2人の息子さんたちはクリスチーヌ  
とともに2台のサボートカーに分  
乗し、自転車旅行をサボートして  
くれた。

チーズ自慢のお土地柄

サヴォワ県の名は、南欧屈指の  
名家、サヴァオイア家（仮説みサヴァ  
オワ）で生まれる。かつてサヴァ  
オア家は現在のオート＝サヴォワ県  
から、スイスのジュネーブ付近  
そしてトリー周辺の北イタリアは、  
ピエモンテ州に隣接を領有し、最後  
のイタリア王国の宰相ディエニニ  
家の娘ヴィオラがその出身だった。  
3カ国にまたがるアルプスのこ  
の地は、どこの山頂近くまで牧場  
が広がる、典型的な酪農地域。こ  
のため、どの村や町にいっても地

べていけ」と、勧められる。そんなサヴォワ県でも随一のう町のチーズ、1次の有名な店がある。ボーフォアもついているくらいだ。なかでもモルトベークは、栄養豊富な牧草を食べた牛の乳から作られるエチ（夏）というチーズが、味が濃濃で芳醇、アルベルビルから輸入したツールが、ランブの場で販売したのボーフォアールだ。

サボートカーは先回りをして、マルシエでパゲット、生ハム、チーズを仕入れて、ツール周辺に力を付いて硬くなつた皮をオビレスのナイフで削つて中をいただく。足慣らしで少タバをかいた体にレーズとバゲットがうまい。1午後はまた上るから、しつかれておいた方がいい。そろ、められ、おかわりを繰り返す。エネルギー補給のあとは約8%勾配を9.63m上るという山岳テージの洗礼。しかし、上った

斐(あい)がある。一部屋(いっしづゆう)がかかるってい  
るとは言え、モンドラン・峰(みね)を  
拝むことができた。モンドラン・峰(みね)を  
越えて、今日の宿アール・サン・  
モーリスへ下る。

元々石造りの家ばかりで、崩れそ  
ろざされたのが多かった。それで、  
築かれた街でも、壁や屋根まで石葺きにな  
ったのだろう。教会も家も、舗装  
道路も石だ。村はそれには、うち捨  
てられた石の石垣がある。

が掲載されていた。これが「紀元前218年、あるカルタゴのハンニバルがゾウを連れて、これから向かうガリビエ岬を越え、ローマに進軍した」と書かれていた。ヴァンサンに掲示板のことを伝えると、「物語による」とそうらしいね。でも、そこまでいっても、こんなにまことにしがた

ウエアロワールから上りは35%と徐々にきつくなる。谷のき止まりからは、とてもゾウで上れそうもない急斜面。岩壁に刻刀で刻み込まれたような勾配面。

- おしゃり夫婦、クリスティンとヴァンサン。彼らのツールのエースとディレクター
- 
- 
- イズン畔のチャペルは、思い詰めたように山に對峙してた

A black and white photograph showing four individuals standing in front of a road sign. The sign reads "Col du Galibier altitude 2642 m". The people are dressed in cycling gear; one man on the left wears a grey and white zip-up top, another in the center wears a dark t-shirt with a graphic, and two others on the right are in dark shirts. They appear to be cyclists taking a break.

The map illustrates the 100km course route across five stages:

- 第1区間 60km**: Starts at the top left, goes clockwise around a loop, ending at the top right.
- 第2区間 60km**: A loop starting and ending at the top right.
- 第3区間 88km**: A large loop starting and ending at the top center.
- 第4区間 56km**: A loop starting and ending at the bottom center.
- 第5区間 56km**: A loop starting and ending at the bottom left.

Key landmarks along the route include:
 

- Stages 1-4: ロスラン・峰 (標高 1968m), ブール・サン・モーリス, ポート・フォール, シャシオニ峰 (標高 1533m), イズラン・峰 (標高 2770m).
- Stage 5: マドレース木 (標高 2000m), サン・ソルラン・ダルクー, アルペルヒル, クロワ・ド・トニエ (標高 2067m), クラン・ド・シエ (標高 1924m), ラルブ・デュエス (標高 1850m), パリビア・峰 (標高 2642m), ローラッシュ (標高 2058m).

峠の反対側を下ると、谷筋の行き止まりの村へ出た。この付近はある。アルプスが由来と、いう説がある。

アルプスという言葉の由来は、いくつかある。山地帯の夏の放牧場や女性を意味するアルプ（英）apple（仏）がいっぽいだ

る。山地帯の夏の放牧場や女性を意味するケルト語の意味するケルト語の意味である。

「ハーバードにも桃太郎伝説！」  
Eitan3

今日はいよいよみんなの夢がかなう日だ。  
サンミッシェル・ド・モリエン  
今まで下り、まずはテレグラフ岬  
に上る。そして、直はリゾート地、ガリビエ岬に至る。テレグラフ岬  
の入り口まで下り急調で足慣らしによく。下から仰ぎ見るかつて  
は要塞たる電報基地は、陥没して崖の上だ。幸い森林限界より下で、  
概ね道は木陰をゆく。今日も平均  
7%の上りで始まった。  
峠に着くと標識の裏に「クーラン  
クテール」が設置され、早速ラン  
チとなった。今日は、目慣れない  
地元のトム・トムのものバゲット、  
そしてクスクスだ。峰の掲示板に  
はツールでの歴史的写真や出来事

●この上り坂にも、サイクリストを見守る石造りの教会が建っています。

189 CYCLESOFTS

CYCLE SPORTS 188